

資料紹介

正倉院事務所所蔵『正倉院御物目録 十二(未修古文書目録)(三)』

飯田剛彦

本稿は『正倉院年報』第二十三・二十四号に掲載した、『正倉院御物目録 十二(未修古文書目録)』(一)・(二)に続くものである。本号では、(三)として第三十五号櫃に関する記載から始まる部分を翻刻する。なお、この(三)で、本目録の翻刻は完結する。内容・体裁等に関しては、『正倉院年報』第二十三号所収(一)の例言を参照されたい。

第三十五号 二十六巻 巻括 一帙

P 89 (途中から)

895	一	大伴浄人解申奉校経一卷云々	一枚			
896	一	経巻奉返目録 天平勝宝二年七月廿九日 「合四百卅三巻」	一枚			
897	一	写経生申解 天平十九年 「錦部君麿首」	五枚			
898	一	伊福部厚磨解 申造花厳経紙事 天平廿年四月十二日	一枚			
899	一	雑経六帙 「別生経」	一枚			
900	一	画機一具二幅云々 九歳六月十八日	一枚			
901	一	経帙目録 「已上廿二巻云々」	二枚			
902	一	大安寺牒皇后宮職経目録 天平十年九月九日	一枚	P 90		
903	一	造物所解 申舎人等交名事 天平宝字七年正月十日	一枚			
		「巻」(895~903にかかる)				
		右九点一括				
904	一	往來付 食口案				巻 三十一枚
905	一	食口案 宝龜三年二月				同 四枚
906	一	勝宝九歳食口案				同 六枚
907	一	同破損 経生手実 「巻尾裏云竹野魚成九月廿六日」				同 廿三枚
908	一	充紙帳 天平感宝元年五月一日始 「巻尾云三月九日三百張」				同 三枚
909	一	往來付 経師墨充帳 宝龜三年二月				同 八枚
910	一	同 観世音経充紙帳裏二薬師経之充紙帳				同 三枚
911	一	同 経紙請帳案 神護景雲四年				同 一枚

912	一	経紙及雑物請帳	天平宝字五年	同	六枚	922	同	後一切経料雑物納帳	同	三枚
「十」			「首云一貫六百五十五文墨五十五挺直」			「二十」				
913	一	請干部法花筆墨帳		同	三十一枚	923	同	雑物納帳	二部般若	宝字六年
「十一」						「廿一」				
914	同	請大般若紙筆墨帳		同	一枚	924	同	絹綿布下帳	大般若経料	宝字八年八月
「十二」						「廿二」				
915	同	二年六月十九日始筆墨直充帳		同	一枚	925	同	千手千眼并新羅索薬師経料銭并衣紙等納帳		
「十三」						千手云々八表ノ銭云々八裏下ノ同之				
916	同	自奉写一切経司本経納并返上帳	四年六月十一日始	同	十四枚	「廿三」				
「十四」						(「千手云々・・下同之」は欄外上段の記載)				
917	同	千手千眼并新羅索薬師経料裏ニ食料雑物納帳		同	八枚	926	同	千手千眼并新羅索薬師経料自宮来雑物継文		
「十五」						「廿四」				
918	一	食物用帳	「首云新式荷 主典安部宿称」 <small>(224)(225)</small>	同	十枚	927	往來付	千手千眼并新羅索薬師経用度帳	天平宝字二年七月五日始	巻卷
「十六」						「廿五」				
919	一	写千卷経所食物用帳	天平宝字二年六月廿一日始	同	八枚	928	一	下充食料帳	「首云十四日下充食料合廿二種」	同
「十七」						「廿六」				
920	一	百部用度文		同	六枚	929	往來付	奉写七百卷経浄衣并銭納帳	七年三月	同
「十八」			「首云写第一所解云々ノ天平勝宝十二年七月十六日」			「廿七」				
(「当該文書を徴するに」「第一」は「書」の、「十二」は「二」の誤り)						「二」				
921	一	雑物納帳	大般若経料	同	二枚	913				
「十九」			宝字八年八月			(「二」は紙片貼込により「経」を訂正)				

第卅六号 十九枚 壹帙

(「六」は紙片貼込により「九」を訂正)

番号	品名	数量	備考
往來付	充裝潢紙帳	五枚	神護景雲四年五月
930 同	充裝潢紙帳	二枚	同
931 同	裝潢充書造經帳	二枚	千手編纂案師經
932 同	經師裝潢校生等殘紙帳	一枚	五年十一月八日
933 同	裝潢帳	三枚	充百部法花經
934 同	請改筆替帳	三枚	宝龜四年十月
935 同	解移牒符案造石山寺所解	二枚	天平宝字六年
936 同	自私所來案	十枚	心奉与法花經一部云々/但修成袖付 <small>「軸」</small>
937 同	作院所解	二枚	申削息事/但往來ニ文字ナシ
938 同	返抄張牒写經所云々	二枚	同
939 同	一切經所	一枚	神護景雲四年七月廿八日
往來付	人々賑給帳	三枚	白米二斗云々ノ付箋アリ/宝龜三年二月
940 同	上帙帳	三十四枚	天平二十年三月「万昆太智写八十花羅第二帙」
941 同	同上	八十二枚	宝龜三年十月「念林老人尼羯摩中卷用紙四十張」
942 同	同上	六十六枚	同年七月「物部常石解首」
943 同	充紙帳	九枚	天平十年「首朱書云十一月四日給絶四十四足云々」
944 同	充紙帳	二十六枚	天平十年二月八日始写經「外二通」
945 同	充紙帳	四枚	充花嚴紙帳「敦賀石川」
946 同	充紙帳	十五枚	天平勝宝三年十月「二通」
947 同	移牒案	五枚	五年正月
948 同	經所解	八枚	天平宝字八年
949 同	經所解	一	經所解二通 写疏所解 一金光明寺写經所解 一

第三十七号 十八点 壹括



975	一	解申勘経并用紙事云々「紙充帳 首云自七月一日 至九月三十日写千手経二百五卷」天平十三年	七	壹卷	四十八枚	
976	一	解音太郎野上解申請筆事以下 宝龜四年	八	同	四十八枚	
		(「八十」紙片貼込により「四十八」を訂正)				
977	一	解申請筆事 宝龜三年 「占部忍男解申請筆事」	九	同	十五枚	
		(「十五」紙片貼込及び加筆により「八十」を訂正)				
978	一	用紙帳 天平十八年 「安曇広磨写紙合二百六十枚」	十	同	廿三枚	
979	一	充紙帳 天平十六年		同	九枚	
		(「十一」首云天平十六年四月十九日收納幡摩用紙云々 外巻連)				
980	一	土師真木嶋校経私記 天平十一年「八月廿六日」	十二	同	十枚	
第三十九号 十五卷 二括 壹帙						
往来付						
981	一	本充帳七百卷 宝字七年四月		壹卷	三枚	P 97
982	同	一千二百卷金剛般若経料装潢紙上帳		同	二枚	
		(「八ノ十五」は欄外下段の記載)				
983	同	装潢充紙帳 六年十二月		同	但内白一枚アリ 二枚	
						P 98
984	同	雑材並檜皮及和炭用帳 六年	四	同	三枚	
985	一	奉請一切経御執経所下巻	五	同	九枚	
986	一	間経并疏文造充装潢 勝宝四年七月	六	同	六枚	
987	同	梵網経云々帳 七年	七	同	一枚	
988	一	日用紙目録 天平九年二月廿五日	八	同	八枚	
989	一	一切経手実 天平二十年三月	九	同	但内一枚墨付無之 四十二枚	
990	同	校合帳 「天平宝字二年七月八日」	十	同	二枚	
991	一	千手千眼并新羅索薬師経料錢并衣紙等下充帳 二年七月/五日始	十一	同	一枚	
		(「八ノ八」は欄外下段の記載)				
992	一	食口案 「巻尾云十四日食口七十五人云々」	十二	同	十二枚	
右壹括						

往來付	993	天平十二年經師手実	「十三」	巻卷	五十九枚
同	994	充本帳 梵網經ノ四分律 七年三月十九日	「十四」	同	二枚
同	995	華嚴宗布施法文案	「十五」	同	六枚
同	996	食口案 「經師冊人裝潢四人」	「十六」	同	十七枚
同	997	上日帳 内「天平二十年「職舎人」」 内「天平宝字二年「東寺寫經所解申今月上日事」」			二枚
同	998	下錢帳 表「天平宝字六年ノ字アリ」 「宇智曆閏十二月上日」			一枚
同	999	充筆帳 「四月來紙始十卷」			一枚
同	1000	外二白紙了ノ一字アリ 「十七」(997、1000にかがる)			一枚
		右四点巻括			
		第四十号 十八巻 巻帙			P 99
往來付	1001	充裝潢紙帳 七年七月三日		巻卷 内一枚付箋	二十三枚
同	1002	寫經用紙帳 天平十二年四月「首云古神德請注榜加經一部」		同	四十七枚
同	1003	食口案 「首云六日食口冊二人云々」		同	四十枚

往來付	1004	米下	「四」	同	一枚
同	1005	錢用帳大般若經料 宝字八年八月	「五」	同	四枚
同	1006	軸返上并残紙帳	「六」	同	三枚
同	1007	千部法華經奉染造帳 「天平廿年二月廿四日」	「七」	同	四枚
往來付	1008	充華嚴紙墨帳	「八」	同 内一枚白紙	五枚
同	1009	間紙納帳	「九」	同	一枚
同	1010	筆帳	「十」	同	四枚
同	1011	錢用	「十一」	同	一枚
同	1012	裝潢紙上帳七百卷 宝字七年四月	「十二」	同	二枚



1031	同	一千二百卷金剛般若經校帳	二年九月十九日	同	二枚	
「十三」				「八ノ十二」		
		(「八ノ十二」は欄外下段の記載)				
1032	同	二部般若本充帳		同	四枚	
「十四」						
1033	同	後一千二百卷金剛般若經筆并墨充帳		同	二枚	
「十五」				「八ノ十七」		
		(「八ノ十七」は欄外下段の記載)				
1034	同	千部法花檀納数并檀次第帳		同	一枚	
「十六」						
		(「帳」紙片貼込により「第」を訂正)				
1035	同	奉写梵網經并四分戒本物料収帳	七年三月	同	一枚	
「十七」						
1036	同	卅卷經雜物納帳	七年七月	同	一枚	
「十八」						
1037	往來付	筆充帳		壹卷	二枚	
「十九」						
1038	同破損	後勘一切用文	天平勝宝元年	同	三枚	
「二十」				内一枚白紙		
1039	往來付	經紙繼文	潤五月十日始	壹卷	九枚	
「一」						
1040	同	八年八月十六日大般若經一部充紙帳		同	廿四枚	
「二」						
1041	同	常疏写納并檀乘次第帳		同	三枚	
「三」						
1042	同	自宮來雜物繼文		同	四枚	
「四」						
1043	同	食口案「首云十九日食口廿三人云々」		同	五十二枚	
「五」						
1044	同	同上「首云五日食口卅四人米四斗九升四合」		同	五十一枚	
「六」						
1045	往來付	後金剛般若經料紙納帳	天平宝字二年九月二日始	同	一枚	
「七」						
1046	同	灌頂料雜物納大判官帳		同	二枚	
「八」				内一枚白紙		
1047	同	雜受書并進書案文及返書		同	七枚	
「九」						

1048	同	「十」	浄衣下帳大般若経料 宝字八年八月	同	四枚		
1049	同	「十一」	写私雑書帳	同	三枚		
1050	同	「十二」	諸請 諸寿量品墨筆帳	同	一枚		
			(「請」紙片貼込により「諸」を訂正)				
1051	同	「十三」	充六十花嚴紙帳 後 ウラニ此一字ノアリ	同	六枚		
1052	同	「十四」	充紙帳 梵網経ノ四分律 七年	同	二枚		
1053	同	「十五」	充経師等臺帳	同	一枚		
1054	同	「十六」	金剛般若経紙充帳	同	八枚		
1055	同	「十七」	請金剛字 金剛花嚴料紫紙并墨等充裝潢帳	同	一枚		
			(「字」紙片貼込により「剛」を訂正)				
1056	同	「十八」	金剛般若経書上帳	同	四枚		
1057	同	「十九」	充梵網経本并用紙筆墨帳 天平勝宝六ノ年七月	同	三枚		
1058	同	「二十」	同破損 裝潢用物帳 「天平勝宝四年閏三月十七日始」	同	三枚		
1059	同	「廿一」	充百部梵網経本并紙筆墨帳 六年八月	同	二枚		
1060	同	「廿二」	奉写灌頂 <sup>本ノマ</sup> 経料雑物下帳 六年十二月六日	同	二枚		
			(「頂」は「頂」の誤りか)				
1061	往来付	「廿三」	雑物借用并返納帳	壹卷	四枚		P 104
1062	同	「廿四」	食料雑物納帳 六月廿一日始	同	二枚		
1063	同破損	「廿五」	食口案 「巻尾裏云純七十五疋四丈」	同	二十三枚		
1064	「一」		第四十三号 四卷 五括 壹帙 充紙筆墨帳 杖部子虫云々ニ始ル	壹卷	十五枚		

1065	一	上帙帳 箭集笠簷云々二始ル	同	四十二枚
1066	一	始天平十四年二月五日至四月廿九日一切経々生等手実案文	同	廿四枚
1067	一	往来付破損 依長官官宣所写勝宝二年三月一日十部云々	同	一枚
1068	一	八月廿五日登美加是充経云々		六枚
1069	一	大石広麻呂写最勝王経一部云々 天平十四年四月十七日「断片」		一枚
1070	一	高市老人写法花経一部云々 十一月十二日「断簡」		一枚
1071	一	茨田写法花経一部云々 天平十五年十一月十六日「断片」 (「経」鉛筆書きにて抹消)		一枚
1072	一	写経目録 造塔功德経云々「断簡」		一枚
1073	一	申帙「上」事長谷部寛磨解以下		十一枚
1074	一	充筆墨帳 民屯万呂云々「断簡」		一枚
1075	一	雑経廿卷云々		一枚
1076	一	納紙充紙帳 「廿年五月二日納穀紙二千五百張」		八枚
1077	一	写書所解 申正月食口事 天平勝宝五年正月卅日		一枚
1078	一	同上 申二月食口事 天平勝宝五年二月廿九日 (1068、1078にかかると)		一枚

右十一一点一括

1079	一	涅槃経疏一部廿卷云々 天平勝宝五年二月十三日		一枚
1080	一	仁王経疏一卷云々 天平勝宝五年二月廿六日		一枚
1081	一	充紙帳 秦在磯云々		三枚
1082	一	「啓」 謹解覽請疏事 天平勝宝五年四月十五日		一枚
1083	一	検定本経総漆伯陸拾捌卷云々 天平十九年三月一日		一枚
1084	一	経目録 无緒云々「胞胎経」		一枚
1085	一	用度帳 廿五日請折薦疊云々「表云ノ、月廿一日自倉院第八倉請」		一枚
1086	一	経師所政所云々 十二月十四日		一枚
1087	一	合経三百六十帙云々		一枚
1088	一	充紙帳 蘇芳紙云々		一枚
1089	一	写生帳 天平十一年九月「生上日」		一枚
1090	一	充紙帳 天平二十年十一月廿九日「首云先一切経料紙黄紙云々」		一枚
1091	一	高人写紙云々「法華経五卷」		一枚
1092	一	奉請文殊師利問経二卷云々		一枚
1093	一	余馬養申 受写用紙事 天平廿年五月		一枚
1094	一	花会唐楽所解 天平神護三年四月六日		一枚
1095	一	写経目録 写大小乘経云々		一枚
1096	一	経生手実 「首云六人校生人別校紙五十六張」		一枚
1097	一	廿三日充鉄二廷付物部根万呂云々		一枚
1098	一	経帙目録 「別生第五帙」		一枚
1099	一	福勢伎美太理用紙云々 (1079、1099にかかると)		一枚

右廿七点一括

1100	—	先経師充紙并筆墨帳	一枚
1101	—	雇工帳 天平宝字六年五月十八日「雇工九十四雇人二百七拾七人云々」	一枚
1102	—	充紙帳 天平十八年十二月「忍海広次合写用紙百七十六張」	十枚
1103	—	進下新物 天平宝字六年八月十一日	一枚
1104	—	写経所用度帳 天平十八年十一月「首云二月五日受書三十六枚」	三枚
1105	—	九月八日納漆牀六前云々「上馬甘吳原生人」	二枚
1106	—	唯識論疏七卷云々	一枚
1107	—	心奉写法花経品云々	一枚
1108	—	名在実元経記 朱字アリ「増巻 割題」 「増巻」は鉛筆書きの圈線で囲まれる	一枚
1109	—	百五十八又百五十八云々	一枚
1110	—	上破レ 品七百九十七巻云々	二枚
1111	—	写経目録 写経一百六十五巻云々	一枚
1112	—	充紙帳 疏十二巻云々	一枚
1113	—	進上三馬葦事云々	一枚
1114	—	写経目録 天平十年九月廿三日付大伴子	一枚
1115	—	写経目録 俱舎論卅巻云々	一枚
1116	—	私願経等勸帳	一枚
1117	—	用度帳 天平宝字六年十二月十九日「用紙一万二千四百四枚」	一枚
1118	—	牒写経所云々「裏云奉送状一紙云々」 「七」(1100～1118にかかゝる)	一枚

右十九点巻括

P 109

1119	—	食口帳 「首云裝潢二十二人云々」	三枚
1120	—	充紙帳 十八年六月「署云素有磯手裏」	一枚
1121	—	写経目録 勝鬘経云々 天平勝宝四年正月廿五日	一枚
1122	—	牒経所案主上公所「一切経目録云々」	一枚
1123	—	民屯麻呂写百論疏云々 十六年六月廿六日	一枚
1124	—	茨田連兄麻呂解 申受写疏事 天平十八年六月廿七日進上 「八」(1119～1124にかかゝる)	七枚
1125	—	経目録 天平廿年十月八日「甚希有経一卷」	一枚
1126	—	借用官紙	一枚
1127	—	経目録 乙檀云々 天平十三年	一枚
1128	—	経目録 戊檀云々 天平十三年	一枚
1129	—	解 申作紙事以下「曾祢磨云々」有磯云々	四枚
1130	—	同 写疏用紙事 天平廿年「丸部乙磨云々」	二枚
1131	—	合奉写心経一百巻云々	一枚
1132	—	解 申請筆事 宝龜三年「香山久須万呂」磨解申請筆事	五枚
1133	—	経生手実 「大鳥祖足云々」 「九」(1125～1133にかかゝる)	一枚

右九点巻括

第四十四号 二冊 巻帙



1170	一	造東大寺司云々 天平宝亨八年 「菩薩念仏三昧經六卷」	一枚
1171	一	大鳥千足写出云々	一枚
1172	一	經師等手実 「合經師四千三百三拾三人」	一枚
1173	一	天平十八年正月始繼紙云々 朱字アリ 「治田石麻呂」	一枚
1174	一	写唯識論疏一十五卷云々	P 114 一枚
1175	一	謹進送抄本三卷云々	二枚
1176	一	上ヤノブレ 御檀云々 天平廿年「九月廿二日出」	一枚
經卷目錄ナリ（欄外上段の記載）			
1177	一	下錢米帳 大原云々	一枚
1178	一	經帙目錄 花嚴經一部六十卷云々	一枚
1179	一	裝潢用度帳 天平宝亨七年十一月 「第二行四疋二尺經師裝潢校生并云々」	二枚
1180	一	經卷出納帳 天感元年 「首云十九年四月十一日云々」	五枚
「六」（1141～1180にかかる）			

右四拾点巻括